



表紙の写真「山梨県立美術館」

甲府市青川1-4。山梨県芸術の森公園として造成され、山梨県立文学館（1989年完成）とともに、芸術文化の拠点となっている。昭和53年（1978）に置業百年記念事業として計画されたものである。コレクションの中心は、ミレーやバルビゾン派の作品に加え、県出身の画家の作品である。特にミレーの代表作「種をまく人」が常時展示されており、県内外からの来館者が数多い。また、美しい庭園内には、ヘンリー・ムーア、岡本太郎などの彫刻が配されていて、野外の散策も飽きさせない。館内では一年を通じて恒展や特別展なども企画されており、美術愛好者には見逃せない魅力となっている。一方併設されている文学館には芥川龍之介、樋口大祐らの資料が展示され、風土性豊かな文学館となっている。

紅葉の中に白く毅然とそびえ立っている作品は、日本を代表する彫刻家で、70年大阪万博会場に「太陽の塔」を建設、一躍有名になった岡本太郎の作品。「樹人」と名付けられ、1971年に製作された。
[写真と文：浅川 純]

「MUH」vol.3 1995.1.1

企画／早野グループ「MUH」編集室

運営／矢田道生・杉平靖雄・久保田充一

編集／株式会社ニューメディア甲府

三神弘・三井君男／五味剛・清水広子・山川エ

ミ・高山ひとみ／日本工業経済新聞社

印刷／有限会社オズプリンティング

誌名の「MUH」は、早野組の社訓である「和」を託したMate(仲間)、Union(結束)、Harmony(調和)の頭文字からとりました。幻のムー大社のロマンを目指します。

フォーラム

テーマ 財布(さいふ) 江宮隆之・古屋久昭・岩崎正吾・佐藤真佐美 2

対談

山梨21 上野 巖 氏 (山岳写真家) 4

ホスト早野潔

もう一つの人生への目覚め 四季派の詩人との出会い

日本を代表する山の数々 恵まれた山梨の自然風土

データ 美しき甲斐の山

トピックス

新春、あなたの時代感覚度チェック 10

企業ウォッチング

株式会社 日野原 日野原 醇 氏 13

サークル訪問

山梨演劇協会・合同公演 14

インフォメーション

早野組・トヨタビスタ山梨・トヨタホーム山梨・甲府通運 16

ようこそ歴史

角倉了以の覇業 上野晴朗 18

アートへのまなざし

名画に描かれた動物たち2 山本育夫 20

トレントThis is the AMERICA Part2 **BOOK コーナー** 22**リレーエッセイ**

太宰治が住んだ街 橋田茂樹 24

近代陸上運送の歴史をさぐる(3) 林陽一郎 25

ユーザー訪問

ラ・バレット 26

お家探訪

望月賀子夫・久美子さん(増穂町) 28

ホームあらかると

まちがいのない家づくりトラブルー 29

おしゃべり AL/BEE**なべる** 磯 香 30**PHOTO EYE** くらしのなかの感動さがし**コラム**

某月某日 企業と人との関係 32

しま さいふ
稿の財布

江宮隆之

「財布」というともうこれしかない、という台詞がある。「月も朧に白魚の、かがりも霞む春の空、冷てえ風もほろ酔いに、心持ちよくかうかと、浮かれ鳥のただ一羽、ねぐらへ帰る川端で、羊の牢か濡れ手で蓑、思いがけなく手に入る百両」。百両入りの財布を手し、女装の盗賊・お嬢吉三が思い入れたっぷりに語るの、河竹黙阿弥の歌舞伎「三人吉三郎初賀」。

思わず、「音羽屋！」と、色っぽい娘姿の菊五郎に掛け声のひとつも出るというもの。黙阿弥の芝居の特徴は、この七五調。日本人ならではの、日本語ならではの、独特のリズムが耳に快い。

こうした芝居の小道具に欠かせないのが「財布」。演目によっては、芝居の狂言廻しの役をつとめたり、場合によると主役にもなる。

有名な『仮名手本忠臣蔵』の、五・六段目の狂言廻しは五十両が入った「稿の財布」。お軽、勘平と定九郎が主人公だ。そのお軽が身売りした五十両を稿の財布に入れた父親の与市兵衛が山崎街道にさしかかるとそこへ夕立ち。身をもち崩した赤穂浪人の芥定九郎は与市兵衛を殺して財布を自分の懐に。

ところがそこへお軽の夫・勘平。猪と間違えて定九郎を鉄砲で「ズドン」。稿の財布は勘平の手に渡るが、これが証拠となって勘平は義父・与市兵衛殺しの嫌疑を受ける。切腹を回り最終の勘平に仲間の赤穂浪士が「無実を証明」、笑顔の中で勘平は果てる――。

ところでこの五十両、与市兵衛も定九郎も勘平も、目的はひとつ。「吉良邸討入り」の資金の一部であった。金ゆえの悲劇は元禄の世も現代も同じらしい。人間の生きるところ金と財布はついて回る。財布の中身は軽いほどよい、とは肩こり症の兄栄か、貧乏人の強がりか。

だが、お嬢吉三のように他人の財布を奪っておいて「こいつは春から縁起がいい」とはやっぱり言えない。

■1948年増穂町生まれ 山梨日日新聞記者を経て現在同社編集局長「経清記」で第十三回歴史文学賞受賞 著書に「凍てる指」など 近著の「白狐の人」は日本と韓国同時発売で話題を呼ぶ 第8回中村屋賞受賞

財布といえば

古屋久昭

秋といえば「もみじ」、パリといえば「シャンソン」。では、財布といえば「カラッポ」。これが私の連想することばである。

「秋・パリ」はいいとして、「財布」の方はどうも惜けない。普通なら、財布といえば「お札」、とこうこなくてはいけないのに、「お札」を通りこして、いっぺんに「カラッポ」というのでは、いかにも私の恒常的不健全財政を暴露しているようなものだが、事実であっては仕方がない。

「いや、それでいいんだよ。カラッポなんて当り前、今はカード時代じゃないか。お札の枚数が何だっていうんだ。そんなもの財布に入れておく奴は古いんだ。」

と、どこからか励ましのような声が聞こえてくる。いくら励まされても「無い袖はふれぬ」と同じで、そのカードだって私には縁が薄い。

「いやはや、来る日も来る日もヒッピーヒッピーの生活っていうのはいやだね」

と今度は同情の声も耳に入ってくるのだが、私の場合、同情されればなしというわけにもいかない。なぜなら財布の中にお札はいったん入って、そのお札で、私なりの、飲む、行く、観る、買うなどという贅沢生活の給料日後十日間ぐらい続けてしまい、それで財布の中身をカラッポにしているというのが本当のところである。

正しくいえば、贅沢生活とヒッピーヒッピーの生活が三対七ぐらいの割合で混ざりあっているというわけなのだ。

財布といえば「カラッポ」。それは私に許される数日間だけの華やかな生活の、久しからずやの後にくる経済破綻の姿なのである。

毎月毎月この繰り返しで、もう三十年間も生きてきた。むしろこれからも一生変わることのない日々が続くにちがいない。

■1943年御坂町生まれ 先ごろ一宮町周辺において「甲斐の秋、詩集散策と詩のサロン」を企画 日本現代詩人会会員

サイフなんかいない

岩崎正吾

失くしたカバンが出て来た。何と仕事場の風呂場にあった。たいていの人たちに笑われた。「へえ、珍しい人だね、カバン持って風呂に入るの」「もはや老人性痴呆症というべきだねえ」言いわけになるが、仕事場は引越しの最中で、大事なカバンがゴタゴタにまぎれてはとわざわざ風呂場に置いたのである。

「でも、カバンでよかったよ。サイフなら大騒ぎだったろうね」と言ったやつもいる。冗談ではない。サイフよりカバンの方がずっと大事なのである。サイフなんか、二つ三つ失したってどうということはない。

そもそも、わがサイフには金なんか入っていない。小説家仲間だから漱石は少し大事にしているが、福沢諭吉なんか顔もみたくない。あつちが宿敵ケーオーではないか。

「それにしても、分厚いサイフだね」

そうなのである。わがサイフは、十年前の三倍くらい厚くなっている。収入が増えたということは絶対ないのに、やたらに最近サイフが厚くなるのである。

テレホンカード、クレジットカード、銀行のキャッシュカード。ガソリンスタンド、ビデオショップ、カラオケハウスの会員カード。交通安全、商売繁盛、国家安泰、世界平和のお守りなどなど……。あまり使わないカードは机の引き出しに放り込むが、行く先々でやたらにカードを作らせるから、ついつい増えてしまう。

カードというものは、サイフにでも入れておかないと、必ず紛失してしまう。たかがビデオレンタルのカードだって、他人に使われると困ったことになる。

したがって、わがサイフの中は、常に現金よりカードの類の方が多のである。たかが紙切れである金が威力を持つのもおかしいが、カードがそれ以上にはびこるとは、ますますもっておかしな世の中になったものである。

■1944年甲府生まれ 地方出版社「山梨ふるさと文庫」を設立「横溝正史殺人事件あるいは悪魔の子守歌」でミステリー作家としてデビュー 「闇かがやく島へ」で角川ミステリー・コンペ グランプリ受賞 近作「異説本能寺・信長様すべし」(講談社)

やがて博物館で

佐藤眞佐美

二十数年前、日本でトップレスバーが話題になっていたころ、カリフォルニアはボトムレスバーの全盛期。その時期はくはロサンジェルスで、通訳という名の詐欺をやっていた。農機具フェアを視察にきたさる会社の社長に雇われ、拙い語学力で嘘八百をならべたて、いいかげんな通訳をしてロサンジェルスのホテルに宿をとったその夜、くだんの社長が分厚い財布をちらつかせ、

「ねえきみ、いいところへ案内してくれないか」

タクシーの運転手に社長の意向を伝えると、ハリウッドのボトムレスバーへ連れていってくれた。タクシー代を払うとき、請求した代金のうちから5ドルほどをチップに渡すふりをして自分のポケットへ入れ、かわりに日本の穴空き5円玉を渡す。これ内緒だけど、アメリカにこの手の銭はないので喜ばれるのである。

一杯2ドルのバーボンを3ドルと偽り、全裸の美女に送られてバーを出ると隣がボルノショップ。社長はどぎつい雑誌をかき集め、ざらっと金をカウンターにぶちまけた。大金を見て店員が、カウンターの下から3倍の値がついた品を出しそつといった。

「お客さん、こちらにそのものズバリがありますよ」

ばくは4倍の値でそれを買わせ、差額はいずれも着服。いいことは、この社長の買い物風景についてである。じつはほくもアメリカで最初のショッピングのとき、相手の言っている金額がちっともわからず有り金をさらした。必要なだけとってくれという意味である。それを見て知人の女性がこういった。

「お金を人前にさらすのはよくないです。誰がどこで見ているかわかりません。ひったくられるか、つけこまれるかします」

彼女はクリスマスに財布をくれた。パッファローの子牛の皮でできた高級品で、小銭入れはなくやたらと切れ込みがついている。使う必要もなく放っておいたのだが、最近になって切れ込みの用途がわかり、現在は重宝している。カードを入れるところだったのだ。いずれ財布は下町の映画館と同じ運命をたどるかもしれない。

■1939年北海道生まれ 日本児童文学者協会 日本洞窟学会会員 著書に『怪奇！大東京妖怪ゾーン』(ポプラ社)、『文ちゃんのはるかな知床』(北海道新聞社) 近著に『栄光ふたたび山梨学院大学箱根駅伝物語II』(山梨ふるさと文庫) など



たくさんの日の出を見た人 ヒマラヤよりもふるさとの山への愛着 山岳写真にあふれる詩情

ゲスト

うえの いわお
上野 巖氏
山岳写真家

ホスト

はやの きよし
早野 潔
早野組社長

もう1つの人生への目覚め 四季派の詩人との出会い

早野 わが山梨は「山梨水明の地」と讃えられています。また、「山の都」とも呼ばれます。山や森の資源に恵まれ、産業も、暮らしも支えられています。ところが、ふるさとの山をどれほど知っているか、どれほどに語り得るかといえ、はなはだ

心もとないばかりです。

このたび上野さんの最新作品集を拝見しまして、あらためて山梨の山々の偉大さ、素晴らしさに感嘆しました。また、先生の山への情熱、深い思いというものにも打たれました。登山をはじめられたのはいつ頃のことですか。

上野 いわゆる青春時代といっていいでしょうか。高校を卒業して、

就職したばかりの頃で、働くということばかりでない、もうひとつの人生を考えはじめたころでした。八ヶ岳山麓や浅間山麓を一人で歩くようになりました。堀辰雄や、立原道造といった四季派の詩人達の著作に触れたことも大きな動機でした。

自然に対して、詩情を感じるようになったんですね。私の生まれは茅ヶ岳山麓の明野村で、子供の時から農業も手伝い、自然のなかで生活してきましたが、それまでとは違う自然観が、詩人達によって導かれ、開かれていきました。高原を歩くこと、詩に親しみ、自分でも詩作をするようになったこと、これが私の青春でした。

早野 第1詩集を27歳の時にお出しになっていますね。青春の記念碑ですね。本格的な山登りと写真は、それからのことですか。

上野 山岳会に入ったとか、写真も誰かの指導を受けてということではなかったのです。奥秩父や北八ヶ岳の森のなかを歩くと、峠や高原をつないで歩くといった、いわゆる逍遙が最初は好きでした。写真も、山歩きの記念撮影のつもりでした。



早野 潔

■上野 巖

1933年山梨県明野村生まれ。郵政省甲府地方野金局勤務を経て、余暇を利用して山登りをはじめ、20代で詩集「雲の地図」を出版。

1965年頃から写真をはじめ「山と溪谷」誌の第1回年度賞受賞以後各種写真コンクールで入賞を果たし、山岳写真家として新しいジャンルを拓く。著書に写真集「南アルプス四季の彩り」「やまなみ讃歌—甲斐の山と溪と高原と—」「美しき甲斐の山—名峰50山の四季—」「山梨のハイコース」「続・山梨のハイコース」など。日本山岳写真協会会員、山梨クラブ会員。

早野 山岳雑誌の権威である「山と溪谷」が山岳写真の賞を設け、その第1回の年度賞をいきなり受賞されましたよね。

上野 30歳を過ぎ、ちょうど結婚をした年でした。驚きました。

早野 山岳写真家上野巖の華々しい誕生でした。その後、山岳雑誌に盛んに作品を発表し、写真集もお出しになり、山岳写真というひとつのジャンルを確立されました。

上野さんの作品は、難度の高い登山の報告や、冒険の証明というのではなく、山の美しさ、詩情を追求する作品だとひそかに思っていました。そこが多くの人を感動を呼ぶのだと思います。

■尽きぬ北岳への憧れと挑戦 危機一髪の命拾いも

早野 これまでたくさんの山を歩かれてきたわけですが、もっとも数多く登った山、愛する山はどこですか。

上野 やはり、北岳ですね。なんといっても日本アルプスの最高峰ですからね。眺めて美しい山が、登りたい山でもありまして、四方から見



上野 巖氏

た北岳をこれまで数えきれないくらい撮影しています。威厳のある山です。死ぬような経験もしています。一度は落石に見舞われました。気づくのが一瞬遅ければ、間違いなく命を落としていたでしょうね。

早野 カメラの機材を担いでの登山であるわけですね。さらに難儀ですね。ましてや単独行ともなれば、危険と背中合わせですね。

上野 ずっと以前の12月の30日に、南アルプス南部の、茅ヶ岳に入りました。昔使われていた伐採小屋に一晩泊まって、小屋といっても屋根だけですが、翌日を待ったんです。でも、悪天候のため諦めて下山

を決めたのですが、ハシゴなどは丸太を組んだだけの簡単なもので、おまけにも腐っています。

これに足を取られて滑り、重いザックに引きずられて身体が逆さづりになってしまいました。これはもう駄目だと思った時に、履いていた目の荒いニッカズボンが、腐りかけていた釘に引っかかったんです。サアーっとズボンが裂けましたが、墜落はまぬがれました。

早野 落石の一瞬、また、一本の釘。天に任せるしかない、運命の分かれ目ですね。それほどまでして、究極の美を、意中の写真を追求するわけですね。

1枚の写真に刻まれた記憶 冬山撮影はマイナス20度

上野 1枚の写真には、それを撮影した苦心の記憶が刻まれています。赤石岳では猛吹雪に遭いまして、頂上の避難小屋へ飛び込みました。避難小屋といってもなかは完全に雪で、小屋のなかでも天幕を張らなければならぬような始末です。その翌日は快晴。しかし、いかんせん風が強く、岩にしがみついていた。それでも、風雪の中でそれなりに気に入った写真を撮っています。

早野 女心にもたとえられる山の天気で、まったく予期できませんね。でも、それが思いがけないシャッターチャンスを期待させるのでしょうか。一番経験なさったのは冬山ですか。

上野 登った回数でいえば、夏山でしょうね。山には、はっきりした春夏秋冬があり、それぞれの性格があって、それがまた魅力でもあります。やはり苦労しているだけに、冬山が印象深いですね。

1月半ば、鳳凰三山に独りで登った時のことです。よい写真を撮りました



くて暗いうちから岩陰で2時間も粘っていたことがありますが、おそらく気温はマイナス20度以下ですね。使い捨てカイロなんていうものは、全然役に立たないのです。しかし、だんだん赤味を増してくる東の空と富士の美しさを撮るために夢中でした。

早野 寒気が伝わってくるお話ですね。

上野 実際に温度計ではかって、マイナス23度というのを見たことがあります。八ヶ岳でした。とにかく

防寒手袋をとると、手は本当にガチガチです。なんとかカメラが操作できるようにと、手をこすり合わせます、一生懸命です。

早野 それほどにまでにして、よい写真を撮りたいと。

上野 刻々と変化していく風景の素晴らしさは、とても言葉には言い表せませんね。空がもっとも美しいのは、やはり日の出の3、40分前です。日の出の瞬間も見事ですが、色がきれいなのは、それよりずっと前です。



早野 日没時のシャッターチャンスは。

上野 太陽が山に入った直後ですね。空に雲があれば、入ってしばらくしてからです。

早野 誰よりも日の出に数多く立ち会っているんですね。

日本を代表する山の数々 恵まれた山梨の自然風土

早野 撮影の対象は、ふるさと山梨の山が多いですね。そこに、上野さんのカメラマンとしての生き方を

知る手がかりがありそうです。

上野 登山といえば、ヒマラヤを目指したいという意欲を誰もが抱くようですが、私は山梨の山に惹かれます。それに、日々の仕事をしながら山歩きを楽しむということからはじめましたから。私にとって、山は暮らしのなかにあるもので、身近なものでなければならぬのです。

早野 全国の山と比べて、山梨の山の際立つ特性、また魅力とはなんでしょう。

上野 このせまい県土の中に、日

本を代表する山岳から、千メートルそこそこの低山まで、かなり変化のある山々がひしめいているということです。

1千メートル以上で、名のある山が125山もあるのですから。3千メートル以上の山は富士山を筆頭に8山あります。残念ながら甲斐駒は、3千メートルにちょっと足りないんですが。

早野 家族連れで心安く登れる山から、日本を代表する第1級の山まで、山梨は多彩な山の魅力に囲まれているわけですね。

私の会社にも休日にハイキングを楽しむ人がいます。先生の著されたハイキングコースの案内書を頼りに、いろいろなコースを辿っているようです。聞けば、同じように先生のご本を手にしたハイカーとよく出会うそうです。どのくらいのコースをご案内しているんですか。

上野 刊行した2冊のガイドブックを合わせると、2500メートル以下の山だけですが、86コースです。山梨の登山コースは限りなくあります。山梨は本当に自然に触れる場所に恵まれています。

早野 86コースというのは、上野



仙丈ヶ岳からは、日本1・2位の富士山と北岳が並んで見える

さんの山への親しみ方の手引きであるとともに、これまでいかに山を愛してきたかの告白の書でもありそうですね。

企業においても余暇時間を有効に使うことを奨励していますから、これから山に登り、自然と交流し、それをとおして山梨の魅力を再発見していく人が増えていくと期待できますね。

ヒマラヤよりも郷土の山 還暦記念に南アルプス縦走

上野 季節が変わるたび、山は呼びかけてきます。梅雨が明ければ、さあ夏山だ、白根三山へ行こうとか、仙丈へ行って花を撮ろうというように、自分の気持ちも自然に変わっていきます。長い間、山と付き合っていますと不思議ですね。

人間、時間があるから何かをするというのではなさそうですね。私も忙しい勤めの毎日のなかで山と親しんできましたから。山には人生も教えられました。意志の強さ、希望の尊さ。仕事が辛いなどということも、あの冬山の厳しさを思えば何でもないことでした。

早野 そうですね。苦しい思い出の方がしっかりと人を鍛えてくれますね。冬山の方がやはり思い出に残ると同じように。昔に較べれば、ゆとりの時代になりましたが、若い人など、山登りをする人は増えているのですか。

上野 期待をしてはいいるのですが、なかなかです。趣味が多様化しているからでしょうか。

早野 楽な道を選び過ぎているということもあるかも知れません。合理性や便利さを求める今日の社会のあり方とは、まったく違う世界であるわけですから。

上野 登山は、まさに、自分ひとりの力を頼るしかないものです。

早野 山と親しみ、青春の記念に詩集をお出しになりました。そして今度、定年退職をされた記念に、また、還暦の記念に、13日間で南アルプスをお一人で縦走なさいました。そして、美術館で写真展をし、さらには写真集を出された。まさに、語れる人生、誇れる人生だと敬服しています。

上野 南アルプス連峰は、これまで個々にはそれぞれ歩いている山な

んです。ただ、一度はやはり通して歩きたいというのが夢でしたから。ヒマラヤもいいですが、それよりもふるさとの山をとにかく歩き通したいという強い願望がありました。勤めていた頃は、なかなか休暇はとれませんでしたし。

昨年、7月20日から山に入りましたね。天候が悪く、台風には3個出合いました。朝からずっと、雨のなかを歩き通した日もありました。

南端のピークは光岳ですが、多くは全山縦走といっても光岳というのはビストンして、手前の茶臼岳から畑窪ダムへ降りてしまうんです。私はどうしても光岳から下って、寸又峡の40キロの林道を歩いてみたかったです。

天候不順のなかを歩き通した縦走でしたが、最後の林道を歩き終える頃、カモシカに出会った時は、何ともいえない感激でした。

早野 還暦で全山縦走というのは、これまで聞いたことがありませんねえ。

上野 光岳の山小屋の主も、はじめてだと言っていました。

[構成：三神弘]



甲斐駒と桜（武川村、柳沢）



薬師岳の岩峰と雲海上の富士遠望（観音岳にて）

データ

甲斐（越）の国・山梨県は、文字どおり山国である。どちらを向いても山また山。全国でも長野県や岐阜県、富山県と並ぶ山岳県であることは、よく知られている。山梨県に属する標高3,000m以上の山は、次の8座（全国では27座）だ。

富士山	3,776m	北岳	3,192m
間ノ岳	3,189m	西麓鳥岳	3,056m
中ノ岳	3,052m	仙丈ヶ岳	3,033m
鷹鳥岳	3,026m	三峰岳	3,020m
3,000m未満2,500m以上の山	27座		
2,500m未満2,000m以上の山	38座		
2,000m未満1,000m以上の山	52座		
合計 1,000m以上の山	125座		

つまり、山梨県には、標高1,000m以上の山が実に125山もある。しかもこれは、ある程度名の知れた山のトータルだ。地元でしか名を知られていない山、無名に近い山も含めたら、1,000m以上の山は150座以上あるはずである。



釜無川から見る朝の八ヶ岳

美しき甲斐の山 上野 巖

私の最新の写真集は、九四年八月に出版した「美しき甲斐の山―名峰五十選の四季―」である。タイトルどおり県内の数ある山岳の中から五十山を選び出して、「〇八の山」写真集にまとめたものだ。富士山、北岳から始まって、南アルプス連峰、八ヶ岳連峰、奥秩父連峰、御坂山塊、その他の山々、三十七六の絶頂から一〇〇〇をわずかに越えるピークまで、五十山を選びおいて私は感激深かった。

山梨県には、こんなにいい山々が沢山ある。高山は高山なりにむろん素晴らしいが、低い山にも魅力はいっぱいだ。「そうだがこんなにも身近にこんなにも愛すべき山たちがいる……」と、写真集のその他の山々の部に収めた時で私はうたった。

山梨での山岳展望は、全県下どこへいってもとにかく見事である。特に高いところへ登らなくても、甲府盆地のいたるところ、北巨摩各地、郡内は郡内で、名峰五十選を含む山々の姿に接することができるのだからということはない。

盆地の南西部からは、鳳凰山塊と御坂山塊の間に白峰三山が見える。釜無川沿いからは奥秩父方面と八ヶ岳の展望。茅ヶ岳の広域農道を走れば、鳳凰三山から甲斐駒ヶ岳、駒ヶ岳と続く美しいやまなみが見る人の心を打つ。

県内どこからも端正な姿を見ることが出来る富士山は、盆地をへだてて見る姿がやはりすぐれている。カメラマンに圧倒的な人気のある御坂山林道や、八ヶ岳山麓一帯からの展望は特にいい。中でも観音平からの富士は、山梨の國中をうんと広く感じさせる効果を持っているようだ。

観音平に登る手前、小淵沢町の上菅尾集落のすぐれに三峰の丘と呼ばれる地点がある。ここからは、富士山、北岳、奥秩父山塊と、我が国の標高一、二、三位の山が展望できる。一般の人には無理だが、南アルプスの仙丈ヶ岳に登れば一位の富士山と、二位の北岳を並べてカメラに収めることも可能だ。

冬晴れの季節、到来。山に登らない日でも、私は、美しき甲斐の山々の姿を求めて県内各地に車を走らせる。



HAYANO

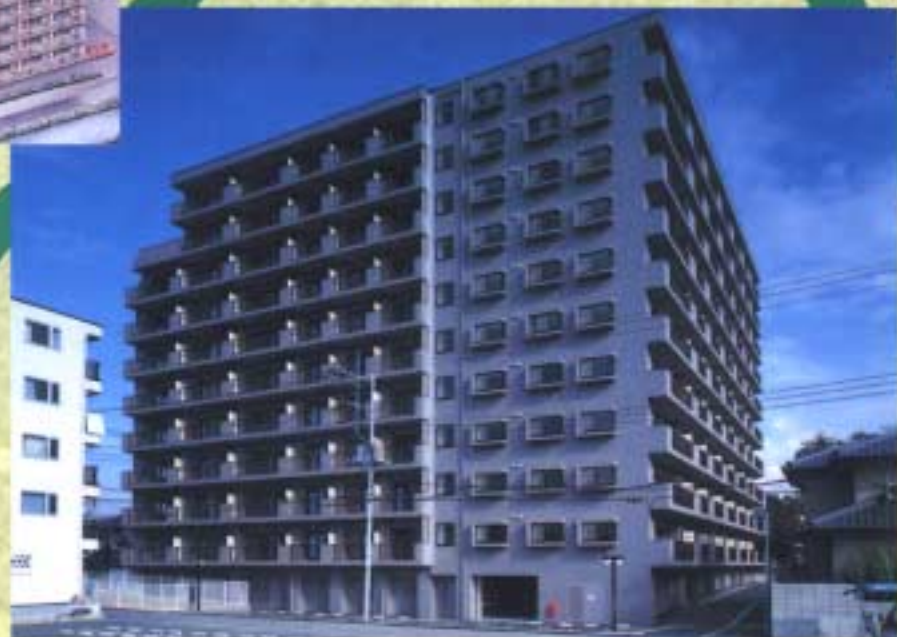
**人と
街の未来**

たとえば地域の風土と環境を生かした
リゾートマンション。私たちは郷土に
おける長年の経験と最新のテクノロジ
ーで、いつまでも快適に暮らせる住ま
い創りに取り組んでいます。



サンコーレ甲斐

施 工 早野組・長瀬土木・新築建設共同企業体
工事場所 甲府市川田町
工 期 平成4年10月1日～平成6年12月2日



株式会社 早野組

本 社 〒400 山梨県甲府市東光寺一丁目4-10
TEL 0552-35-1111 FAX 0552-35-1109
東京支店 〒160 東京都新宿区西新宿四丁目39-26
TEL 03-3376-2897 FAX 03-3375-7124

中部支店 長野県飯田市東千手2621-1 TEL 0265-22-3060 FAX 52-2171
静岡支店 静岡県静岡市大宮2丁目4-7 TEL 0543-246-2503 FAX 246-2503
岐阜支店 岐阜県岐阜市東橋の木町1丁目32 TEL 0572-55-2534 FAX 55-0817
岡山支店 岡山県岡山市東区東橋の木町1丁目32 TEL 0265-83-0360 FAX 81-5468
多摩支店 東京都八王子市横山町11-4 加藤ビル3F TEL 0426-45-2375 FAX 45-2375

THE 40TH ANNIVERSARY HAYANO CORPORATION

企業ウォッチング

株式会社 日野原

株式会社日野原・代表取締役社長

日野原 醇 氏

ひの はら あつし

●株式会社日野原/企業データ●

1949年8月、先代社長により創業。昨年の9月には新社屋が山梨県アリアのファッション工業団地内に移転オープンした。緑が多く、とてもオシャレなこの工業団地「アリア・ディ・フィレンツェ」は、中小企業組合仕法施行以来、日本初のキャンパス。デザイン、機能、地域性に重点を置き、入居者社が一体となって良質なハーモニーを醸成している。設計上のコンセプトは、「恋人同士がくつろげる空間づくり」。

社屋のほとんどが子供セーターの製造である同社が、7年前、出生率の低下等を理由に、消費ターゲットを女性に移行。イタリアンカラーを用いた多色、複雑な生地を売り物とし、「女性に若さをプレゼントしよう」と、国産ニットメーカーの基盤づくりに尽力する。「建物自体が会話を、女性に優しい、人種差別をなくした職場」が社長の目標。社内ではTPDに合ったBGMが常流れている。

“ファッション”とは、人や物が持ち得る個性を十二分に引き出すツールである。よく60sとか70sという言葉を目にするが、時代時代を的確に見据え、次から次へと新しいものを創造して行く、いわば時代の象徴的存在がファッションだ。今巷では、ユニセックス（無性別）がトレンドとなり、衣・食・住のあらゆる分野で、そのファッション性が注目されている。

「ニットにおいても男女の感覚は余りないんですよ」。こう語るのは株式会社日野原社長・日野原醇氏。

先代が会社を設立して以来、ずっと携わってきた子供用セーターの製造から、7年前、レディース専門のニット製造へと移行。社内に革命の旋風を巻き起こした。「洋菓子屋さんが突然和菓子作りに専念するようなもので、最初は経営的にも感覚的にも厳しかった」と、当時を振り返る。

今や天職とばかりに仕事をこよなく愛する実業家となったが、若かりし頃はひたすら音楽に没頭していたという。上京し繊維問屋に勤めながら音楽への夢に馳せた氏は、やがて楽器代も払えない生活苦を味わう。そんな折り、先代である父が帰郷を条件に全ての借金を肩代わりすると申し出る。氏は好きな音楽に見切りをつけ、帰郷。日野原繊維工業（現日野原の前身）の新入社員となる。「セーター工場に生まれ、門前の小僧じゃないけど、オヤジに小さい頃からぶち込まれてきたからね。なるべくしてなったのかな、結果的に」。今となっては音楽は専ら聴くだけ、と言う。現在所持するオーディオ製品の総額は、なんとベンツ2台分にも相当するとのこと。このこだわりはさすが！



そんな氏が今秋、自ら旗揚げしたのが「甲斐文化倶楽部」。山梨の文化、芸能、芸術の発展を目的とし、県内芸術家の育成に貢献していきたいとしている。近々その一環として、ニューヨークフィルハーモニーを招待。「文化や芸術との交流は、経営の判断基準ともなり、情報発信の基地であると思います」と氏。「21世紀は文化だ」と語った。

■人が集まる所に必ずファッションが存在する

氏曰く、「人間を取り巻く環境、それ自体がファッションなんです。単体だとファッションにはならない。複数になって初めて生まれるんです」。氏のこだわりと信念、そして何より、日野原をここまで仕立て上げた独自の哲学は、見事というしかない。

「21世紀の声を聞くまでには、ARIAブランドを街（アリア・ディ・フィレンツェ）全体のプライベートブランドとして確立させたい。そしていずれは、フィレンツェの街へARIAブランドで出品したいですね」と、自社の将来について熱心に語り「実現可能な距離にいる」と分析した。

夢の実現に向けて着実に進んで行く氏。「これからの世界に通用するように、いろいろなものを認識、吸収しなければいけない」と意欲も満々。「ファッションの発信基地として、今まで培われたものの展開をしていきたい」と、今後のアリア・ディ・フィレンツェ全体の発展を目指す。

どうやら氏のファッションへの野望は、当分尽きることを知らないらしい。 [取材：真壁仁美]

山梨演劇協会・合同公演

山梨から日本全国へ
演劇のレベルアップを図るアマチュア劇団

劇団コメディ・オブ・イエスタディ 劇団やまなみ 劇団演集
劇団表現座 劇団創作座 舞台の会

最終稽古の夜に

「それでは始めます」。舞台監督の一言で、それまでザワついていた場内がしんと静まり返る。出演者とスタッフがそれぞれのポジションに移動すると、教会の講堂が舞台に、おしゃべりに花を咲かせていた少女の顔も、役者のそれになった。

さる1994年11月24・25日、山梨演劇協会の合同公演「海峡を渡ったあの蝶のように」が、県民文化ホールで行われた。取材に訪れたのは、ちょうどその最終稽古の夜。稽古場である教会の講堂は静かで、びんと張りつめた空気に思わず身が引き締まる。中央に机や椅子が置かれただけの空間をじっと見守る、演出家をはじめとした大勢のスタッフ。稽古とはいえ演技は真剣そのもの。た



公演前日ともなると、演技にも熱が入る

とえ物語の筋を知らなくても、繰り広げられる場面ごとについて引き込まれてしまうほどの迫力だ。

今回で5回目になる合同公演は、県内で比較的長く演劇活動が続けている5劇団によって10年前から行われている。お互いを切磋琢磨しようという目的で始まって以来、公演を隔年で行ってきた。内容は、第1回が昭和30年代まで甲府盆地周辺に蔓延した地方病の話、第2回が武田の時代の農民の姿、第3回が河口湖から吉田へ農業用水のための隧道を掘り抜いた農民の苦難、第4回がいじめをモチーフとした現代人の苦悩と、いずれも興味深いテーマを扱っている。そして今回は終戦から50年を迎える年であることから、50年前の甲府を振り返り、かつて山梨英和学院の校長だったミス・グリーンバンクにスポットライトを当てることになった。

海峡を渡った蝶

「海峡を…」の作者は、「劇団コメディ・オブ・イエスタディ」を主宰する水木亮さん。合同公演で脚本を手掛けたのはこれで2度目になる。「50年前の甲府盆地で何が起こったのか、甲府大空襲をはじめ、厳しい時代を庶民がどのように生きたか、若者はそこでどう悩んだのかを今の若い人達に伝えたい」と語る。この物語で重要な役割を果たすのは、2人の登場人物。まず、ミス・グリーンバンクをモデルとしたキャサリン。戦争から教え子を守るために、軍司令部からの監禁や拘束、監視の中で日本に残った、愛あふれる教育者だ。そして学校や軍国主義の体制に合わないために、いじめられ、不良と呼ばれながらもくじけない少女麻弥。2人の出会いと別れを通し

て、自由に生きることがいかに難しく勇気がいるか、そしてどれだけそれが大切なことを、太平洋戦争の真っ只中から、現在に向かって訴えかける。

足下からの発掘

水木さんの作品に一貫しているのは、山梨に関わる事件や問題を取り上げているところだ。自らが主宰する劇団でも必ず山梨に題材をとって、自分の手で仕上げる。「自分の足下を掘っていくことが、やがて日本を発掘するのにつながると思う」と話す通り、まず出身地の山梨から演劇のレベルアップを、という思いは強い。高校の教諭として高校演劇の指導が続けていたが、活躍していた学生は卒業すると東京などに出てしまい、地元のレベルが少しも上がらないことに不満を感じて劇団の設立を決意。1979年に、卒業生を集めて旗揚げした。最初はちょっとしたコントのようなものから始めて、場所は「バブヤ、護国神社の階段でもやった」というように、演じることができればそこがステージ。劇団の人数が増えるにつれ、内容も次第に現在のようなドラマチックなものへと変化していった。

それからいくつかの公演を体験したが、ターニングポイントとなったのが1991年に上演した、ハンセン病患者の治療に尽力した医師、小川正子の半生を描いた「悲しき病世に無からしめ」。山梨のアマチュア劇団としては初の東京公演を行い、県内外の人々からも広く反響を呼んだ。演劇のレベルが最も高いと言われている関東でも十分通用する実力が証明されたことになる。「機会があればまた東京で上演したい」と水木さんは意欲を失わない。



真剣に稽古を見つめるスタッフ

夢とともに走り続ける

劇団のスタッフは基本的に20人前後。高校生、短大生、会社員、教員と職業はさまざま。とにかく芝居が好きだという人で構成されている。公民館などを借りて稽古に励んでいるが、練習に使えるような場所の少なさが目下の悩みだという。水木さん自身巨摩高校定時制の教諭として夜は教鞭をとり、昼に脚本を書くという忙しい日々を送っている。時間が足りなくて困るのでは？とたずねると「追いかけてくるような情報は尽きない。題材に出会うと、どんなに忙しくてもこれを書かなければという必要を感じてしまうんです」と笑う。次は朴烈事件のアナーキスト、金子文子を取り上げる予定。そこでもやはり、たくましく生きる女性の姿を描きたいという。

「これからもエネルギーのある限り、演劇を続けていくつもり。ささやかでもこうして旗を振っていれば、必ず誰かがついてきてくれると信じている。胸を打つこと、楽しいことを演劇を通じていろんな人と一緒に感じていきたい」と語る水木さんに、これまで彼が描いてきた、一握りの勇気を持って一生懸命に生きる女性達の姿が重なった。

[文：山川エミ]



早野グループ4社から 一番ホットな情報をお届けします

自然にやさしい新製品エコメロウマット

遊歩道、玄関のアプローチなどの舗装にぴったりの新商品『エコメロウマット』が登場しました。豆砂利(5mm~10mm)とゴムチップを混合し、ウレタン樹脂で固めたもので、産廃ゴムをゴムチップとして有効利用したりサイクル商品です。

①弾力性に富み、歩きやすい②透水性で表面に水がたまず、雨の日も快適③豆砂利の色彩が自然とマッチ④樹脂が透明なため、好きな色が選べる⑤抜群の耐久性で安心して使える、などが特長。アスコンの上、セメコン上、砕石路盤の上のいずれの場合も施工可能です。ブロック製品を敷き並べる方法と、現場で直接混合し敷きならす方法があります。お問い合わせは八田プラントの水上まで(TEL 0552-85-3311)。



06早野組
甲府市東光寺1-4-10 TEL 0552-35-1111

都留にも中古車センターがオープン

大月から富士吉田に向かって国道137号線を進むと最初に見えてくるのが、ご存じビスタの都留営業所(TEL 0554-43-9000)。ここに新しく中古車センターが併設されました。大月、都留はもとより、東部富士五湖方面からも身近な場所で、より手軽に中古車を選ぶことができます。



今話題の新車と一緒に、厳選された中古車を多数展示しています。品質の高さは言うまでもありません。きっとあなたの探している一台が見つかるはず。ビスタのテクノショップが完備されているため、購入後のアフターサービスも万全。ディーラーならではの安心と保証を、車と一緒に届けてくれます。

なお、トヨタビスタの取り扱い車種は次の通りです。
アリスト、クレスタ、セブター、ビスタ、カレン、MR2、ターセル、セラ、ハイエース、ランドクルーザープラド。

トヨタビスタ山梨支店
本社：甲府市朝霞3丁目10-21 TEL 0552-32-5511

トヨタホームの工場を見学しよう

トヨタホーム山梨の本社敷地内に、ニューモデルルームとして新商品「メレーゼ」が建設されました。室内・外共に充実させた、トヨタホームの自信作です。外壁には



耐久性に優れた素材、砂岩調のセラミックウォールを採用し、質だけでなく外観にも満足できる仕上がりになっています。室内は高級感のある落ち着いた雰囲気の特長。実際に中をのぞいて、その居心地の良さを確かめてみて下さい。

この「メレーゼ」、12月18日(日)にオープンしたばかり。真新しいモデルルームで、あなたの住まいの夢はさらに広がるはず。そんな時は気軽にスタッフにご相談を。家づくりには、住まいのプロ的確なアドバイスは欠かせません。快適な暮らしの夢を実現させる第一歩は、モデルルームの見学から。ぜひ一度「メレーゼ」を訪ねてみて下さい。



トヨタホーム山梨支店
本社：中巨摩郡昭和町西1043 TEL 0552-75-1234

物流の明日を見据え、拠点整備進行中

トラック運輸業者が、運輸事業の構造改善と山梨県の流通業務団地計画に呼応した、山梨県トラックターミナル協同組合を設立したのは、昭和50年の7月でした。

昭和54年9月に第1団地が落成して以来、3次にわたり団地整備を行って、今回で第4次になります。

第1団地 62,862㎡

第2団地 11,869㎡

第3団地 9,668㎡

第4団地 36,666㎡ (中巨摩郡田富町地内、現組合用地隣接地)
工期 平成6年11月~平成7年3月

甲府通運は第1団地内に田富営業所を、第3団地に本社を置いていますが、第4団地でも新たに土地を取得、配送センターの建設を進めています。平成6年12月に起工式を終え、今年3月に完成予定。甲府市湯田と甲府市南口の倉庫に加え、物流拠点の整備によって輸送ニーズの多様化・高度化に対応します。



甲府通運株式会社
本社：中巨摩郡田富町流通団地3329-1 TEL 0552-73-0611

我が国民間貿易の創始者といわれ
南方諸国にまで出向いて交易
富士川の開鑿にも名を馳せた怪物
さてその実像は……

角倉了以の覇業

(すみのくらしょういのはぎょう)

上野 晴朗

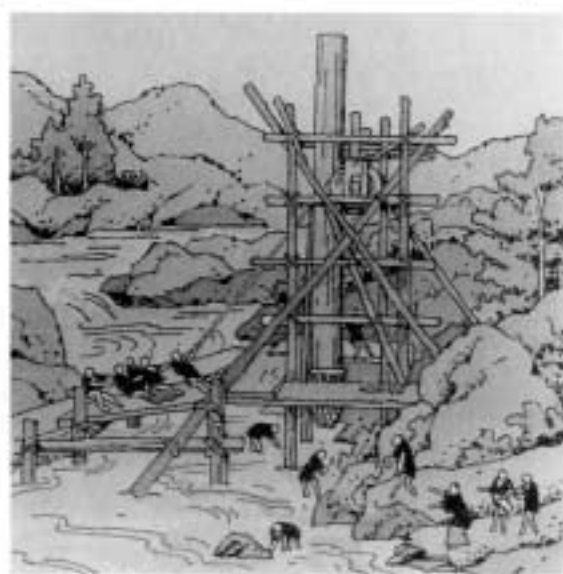
うえの はるお
1923年山梨市生まれ 歴史家・作家 県立図書館郷土資料室を
経て 67年から文筆活動に入る 著書に「甲斐武田氏」等多数

名勝として有名な京都嵐山に行く
と、大悲閣千光寺という禅寺がある。
この寺は慶長19年(1614)に角倉了
以によって、二尊院の僧道空了椿を
中興開山として開いた寺である。角
倉了以といえば、わが山梨県とは関
係深く、富士川の舟運も了以の
開鑿工事によって始められ、そ
の水運の道が拓かれた。そのス
ケールは山梨の水運だけでは量
れない人物の1人といえよう。
一口にいえば安土桃山時代の海
外貿易家。いわゆる朱印船貿易
の開拓者で諱を光好、字名を与
七という。土倉(京都府)の吉
田家に生まれ、宗桂という医者
の長男であったが、家業を継が
ず専ら貿易と治水事業に活躍の
道を拓いた。京都には当時3人
の豪商の名前が見えるという。

康がその後を受け継ぎ、渡航免許を
発行したので南蛮貿易は隆盛期に入
る。そのルートは高砂・ルソン・マ
レー・コーチ・カンボジア・シヤム
などに及んでいる。

船主は大名の島津・松浦・鍋島・有

内諸河川の開鑿事業に目を向けてい
たことで、その主流は土木工事であ
るから、相当にその道に明るかった
と見てよい。その事績をみると、慶
長11年(1606)に大堰川をはじめ、
富士川、天竜川、高瀬川等を疎通させ、
舟運や用水利用の道を拓いたこと
で、とくに二条より賀茂川の水を
引き、伏見に達する高瀬川を開削、
京都～伏見の水運を開通した力量
が高く評価され、家康の目にもと
まっていた。その土木技術の興隆
はなんといっても生死をかけた戦
国時代に芽生えており、とくに城
郭建築は巨大なモニュメントとし
ての天守閣を創み出したが、その
戦国の土木技術は平和に入ると
一斉に堰開鑿や河川修葺、浚渫
などに向けられたのである。



角倉了以の富士川開削の図

生年が天文23年(1554)であ
るから、戦国を生きぬいてきたわけ
で、その頃は琉球貿易が中心であ
った。その後ポルトガル人の渡来や、
外来文化の吸収から外国貿易が芽
生え、豊臣秀吉の時には、政府から
海外渡航許可の朱印状をうけて、
南蛮貿易が可能となった。さらに
徳川家

馬などの九州方面の藩主と、京都
の角倉、大坂の末吉、長崎の末次
などの豪商がいた。そのうち了以
は主として安南とかトンキンなど
に貿易船を派遣していたようで、
巨万の富を築いたという。了以の
発想の特異なことは、この海外貿
易とともに、国

つまり角倉了以の富士川開鑿事業
をみると、経営力に秀でた政商と
しての力量のさへはもちろん抜群
であるけれども、豊富な資金を運
用しての経営能力というものがま
ず第一ものを云い、次には技術面
を含めた付加価値の創造をわき
まえた人生感の

持主でなければ動まらない。つまり
は事業は社会奉仕だけではなく、
企業化を必要としていたところに、
戦国時代までの武士階級誘導型と
違った新しい人間像の輩出が待た
れていたのである。要するに、当
時平和の時代に入って、澎湃とし
て湧き上がってきた開鑿事業への
共通の課題と対応には、武士階
級ではもはや駄目であり、新しい
タイプの了以のような人間像を
必要としたのである。それは大
久保長安のような人物にも共通
のものであった。

つまり彼等の人物像に共通なのは、



富士水碓(御沢町・明神町)
角倉了以の富士川開鑿を記念する碑

世界に眼を向けていたことで教養
としての和算学の基礎の上に、鎖
国前まで自由に流入してきていた
洋算学の会得がプラスされて、そ
の高等数学をわきまえた人間像
がつくられていたことであつた。
その結果は土木開鑿技術、測量
技術などに花開き、地下にトン
ネルを掘る技術までマスターし
た人物まで輩出してきていた。
とくに海運の発達と造船技術の
向上は驚異的なものがあり、鉾
山開発などもとくに隆盛期に入
ってきていた。だから大久保長
安と了以の関係も深く、当然長
安の援護もはたらいていた。

角倉了以の富士川の改修工事の
狙いの裏をみると、従って河川
交通の便利さをあくまで追求し
ているのであるけれども、経営の
利潤追求という面も決しておろ
そかにしていない。了以の子息
を素庵玄之というが、親子二代
にわたって富士川改修工事に
執念を燃やしたのも、資本投入
の見返りも当然計算に入れての
ことであつた。素庵は父以上に
洋算学をマスターした数学者と
して著名で、また本阿弥光悦・
松花堂昭来と共に三筆と謳われ
た書道家でもあつた。

それにしても富士川は急流をも
つて鳴り、谷もせまい所が多く、
岩骨だらけの河床を浚渫すること
は並み大抵のことではできない。
ときには爆薬も使う。岩の破砕
には大がかりの櫓を組み、胴突
と同じ原理で人夫数名が綱を引
き破砕する。大悲閣に建つ「河
道主事嵯峨吉田了以翁碑銘」
によると、了以が河川改修、舟
運の事業に目をひらいたのは、
慶長9年(1604)に備前国和気
川を訪れたときで、碑文の中に
「凡そ百川、皆以て舟を通す可
し」と見えるから、その決意と
覇業の気持が伝わってくる。

富士川の工事は慶長12(1607)
年に始まり、その7年後の慶長
19(1614)年子の素庵が当って
いるから、工事はおそらく10年
くらいかかっているであろう。そ
の頃には了以は嵐山に隠棲し、
大悲閣を建て、開鑿工事に関係
した人々、とくにその犠牲者の
霊を慰めるためにこの寺を建て
たというからその人柄が偲ばれ
る。本堂には了以の念持仏であ
った本尊の千手観音像と、ここ
に掲載した法衣姿の了以の木像
が安置されている。とくに手に
鉞を持つ姿は印象深いものがある。



嵐山大悲閣の石柱



京都大悲閣に安置されている
角倉了以の木像

名画に描かれた動物たち 2

—「リアリズム」の画家クールペの描いた犬—

山本 育夫

やまもと いくお
詩人

ミュージアム・マガジン・DOVE（ドーム）編集長

名画に登場した犬

自分勝手な猫とちがって、犬は従順であり、人のかたわらでいつもじっとしていることができた。描くうえでもこれほど重宝な動物はいなかったにちがいない。種類も多種多様で、犬図鑑でも利用しなければとても見わけられない。しかし種類がわかれば、その犬の性格もある程度はわかる。性格がわかれば、時には持ち主、時には画家の性格もみえてくる。また、種類によっては狩猟犬なのか、ペット犬なのかもわかるし、画家がその絵の中で犬に負わせた意味もみえてくる。

さて、今回はご存じの方も多いかと思われる、ギュスターヴ・クールペ（1819-1877）にご登場願おう。写実主義の先駆的な芸術家であるクールペ。有名な絵として、1945年に原画が失われてしまった「石割り人」とか、「オルナンの埋葬」、「画家のアトリエ」などがある。

クールペは、フランスの田舎町オルナンの豊かな農場主の息子として生まれた。20才の年にパリに出てか

ら、画家としての研鑽を積む。フランスは激動の時代のただ中にあり、1848年には二月革命が起こる。こうした時代の背景の中で、クールペはサロンに出品を重ねていたが、1841年から1847年にかけてのサロン出品作25点のうち、選考委員会を通った作品はわずか3点であった。しかし、1848年の二月革命の年、運命はクールペにはほえんだ。この年のサロンは革命の影響で選考委員会が設けられず無審査となり、クールペは20点もの作品を展示できた。また革命派の社会主義者たちの中には、クールペの作品に描かれた「等身大の農民」の姿に賛同し、「石割り人」を最初の「社会主義絵画」とと讃える人さえでてきた。時代に押し上げられるように「リアリズム」の画家クールペの名は世間に広まったのである。

こんにちは、 クールペさん

1853年、クールペはサロンにおいて、彼の忠実なバトロンとなるアルフレッド・ブリュイヤスと出会う。

今回紹介するクールペの作品「出会い（こんにちは、クールペさん）」（1854年作ファール美術館蔵）に描かれているのが、そのアルフレッドだ。裕福な金融業者の息子アルフレッドは、結核を病んでいた。内向的でナルシズムに陥っていたアルフレッドは、自分の肖像画をいろいろな画家に34点も注文して描かせていた。この絵は、クールペが1854年にモンペリエにあるアルフレッドの自宅を初めて訪ねた時の光景である。町はずれに着いたクールペを出迎えるアルフレッドと召使い。左から2番目の、緑の服に赤いあご髭をはやした人物がアルフレッドだ。帽子をとって、やあ、いらっしゃいと話しかけている風情。その左が従者。もちろん一番右側に画材道具を背負って立っているのがクールペである。

3人の視線に注意してみよう。まず、クールペ。頭を後ろにのけぞらすようにして、アルフレッドたちを見下ろすような視線だ。アルフレッドは、クールペをまっすぐに見ずにやや下向きに視線を落としている。そして従者は完全に頭を垂れている。当時革命派とみなされていたクール

ペだったから、バトロンに罎（こび）を売ってなどいないぞ、どうしても絵を描いてくれというから、わざわざ来てやったのだ、という精一杯のクールペの姿勢が、この絵の視線から伝わってくる。画面右端にはクールペを乗せてきた馬車がいままさに画面から消えようとしている。もちろん画面の手前には、アルフレッドを乗せてきた馬車が止まっていることだろう。

フレンチ・ハウンドが 描かれた理由

ところで、ここから肝心の犬の話になるのだが、画面の対角線が交差するちょうど中心あたりに一匹の犬が立っている。「フレンチ・ハウンド」という種類の犬に似ている。生粋の実猟犬である。ノーブルでエレガント。賢くて親しみやすい。もちろん、クールペが画面の一番中心に犬を配したのは訳がある。

古くから犬は、しばしば「忠実」とか「忠誠」とかの意味を担って画面に登場してきた。クールペは革命派のリアリズムの作家ではあるが、一

方でサロンに憧れ、たびたびルーブル美術館に通ってレンブラントなどの模写をしていた。相反する複雑な思いを秘めていたクールペ。ブルジョワを倒し市民が中心の時代をつくるのだという心情にひかれながらも、そのブルジョワをバトロンに持たねば生活してはいけないという二重性が、クールペの心を引き裂いていた。だからなお一層、この絵に見られるような強がりの姿勢が強調される。「私たちはあなたの忠実なしもべです」とクールペはこの犬に語らせている。フレンチ・ハウンドは狩猟犬なのだから、この場面でいっしょにつれて歩いていることに不自然さは否めない。

絵を読む楽しみ

ところでこの絵は他にもいろいろおもしろい見方が楽しめる。例えばアルフレッドの足下には長い木の影が落ちている。このことから画面のこちらがわには木が立っていること



ギュスターヴ・クールペ
1819-1877
《出会い（こんにちは、クールペさん）》
1854年
129 X 149cm
モンペリエ ファール美術館蔵

がわかる。斜めに落ちている影から推測すると、時刻は午後の3時から4時。アルフレッドたちがコートを着ていることから季節は初春であろうか。画面下に描かれている繊細な野の花の、かれんな美しさも見逃せない。

また3人の口ひげのちがいが、3人の手にしている帽子のちがいが。ステッキのちがいがなども気をつけて見てほしい。それぞれ人物の特長を表すための小道具として、画家の周到な計画のうえに選び取られていることが感じられるはずである。

当然といえば当然のことではあるが、画面に描かれているものはすべて画家がたくさんの選択肢の中から選び取ってきたものである。であればこそそのすべての事物（風景や人物や動物や衣類や・・・）には画家が選択したなにがしかの意味が込められているにちがいない。

その意味の積み重ねが、一枚の絵画の持つ大きな意味を誘発するため素材なのだ。とすればその素材を読み解かない限り、大きな意味も顔を現すことはないともいえるのである。



★わたくしの“独断と偏見！おススメスポット”
を紹介します。それでは、
“Have a nice trip, you guys!”

- アトランタ／風と共に去りぬの舞台 南部独特の雰囲気が味わえる
- グランドキャニオン／あまりにも壮大な自然を前に絶句！人生観が変わる
- サンタフェ／建物がキュート！一年中のほとんどが晴れで、どこか南国風の暖かい街
- ディズニーワールド in フロリダ／ロスのより exciting & fun!
- ニューオーリンズ／ジャズの街 フレンチクォーターのそこ知れぬ解放感がたまらない！
- ブロードウェイ in ニューヨーク／いつか私もあの舞台に！本場のミュージカルを鑑賞しながら夢は駆け戻る
- ボストン／良い意味で、「日本人がイメージするアメリカ」と言われている
- ラスベガス／断然カジノ！アメリカンドリームをその手につかもう！
- ワイオミング／これを大自然と言わずに何と言おう一度ハイウェイを走ってみて！

あなたに合った“アメリカ”を探そう！

A Happy New Year!

21世紀まで残すところあと5年。時代の最先端を素早くキャッチする若者達には、新世紀の到来が待ち遠しいはず。

さて、21世紀も確実な発展を遂げると言われる旅行業—ツアーズ—。中でも海外旅行なんかは、国民の二人に一人が経験する、なーんていうデータが出て、ちょっともおかしくなんかない。

そこで今回は、前号に引き続きアメリカ旅行をオススメしたい。ツアーでは味わえない面白さ～現地の人とのコミュニケーション、レストラン、ホテル、観光の穴場発見～等、時には1DAY OFFをとって、勝手気まま且つ有意義な旅を経験してみても楽しいよ。

いつしか我々がもっと身近にアメリカを“経験”する時、少しでも参考になってくれれば…と、パート2の今回は、アメリカを7ブロックに分けて、物理的、心理的な面からそのエリアのキャラクターを紹介していきたいと思います。

THIS IS THE UNITED STATES OF AMERICA!

規模：東—西 4,500 キロメートル

南—北 3,100 キロメートル

多重国家。50の“州”は日本で言う県とは違い、独立国家としてのイメージが強い。州により法、税等が異なり、制限速度内で走っていた車が州境を越えたとなん、

スピード違反で捕まるケースも少なくない。

①北東部（ニューイングランド地方）

イギリス系が多く、ヤンキーの発祥の地。ピューリタニズム（厳正主義）の影響大で、堅苦しく、気高いインテリなエリートが多く「最初のアメリカ人」というプライドが強い。山が多く、冬はとにかく寒い。寒さの苦手な人にはこの季節、ちょっとつらいかもね。

②ニューヨーク地方

ハーレムの黒人やユダヤ人等、人種がバラエティーに富んでいる。人口過密な都市型文化圏で、粗雑なイメージすら与える。パワフルな実力主義の社会で、アメリカ人でさえ異国視する地方。

③中西部

ドイツ、北欧、イギリス系その他、都市部にポーランド、東欧系が多いところ。広大で単調な農耕地帯は、アメリカの食料庫と異名を持つ。均質社会で、宗教心が厚く、正義感が強い。正統なアメリカ英語を話し、のんびりとした人生観を持ち、純粋な心の素朴なホッペの赤いアメリカ人。

④南部

南北戦争で一致団結した、いわゆる戦友同盟州。自尊心は強いが、素直で人情深く、社交好きが多い。伝統を重んじる為か、経済開発面では遅れをとる。残念ながら、未だに人種差別が根深く残る。この地方は独特の訛りと美人が多くて有名。

⑤ロッキー山脈地方

アングロサクソン系住民が多く、ウエスタン文化、カウボーイの発祥地。荒々しく戦闘的な性質を持つ。乾燥地帯の為、牧畜業が主体。自然との共存意識が強く、自然保護運動が盛んに行われている。

⑥砂漠地方

澄んだ空と殺風景な

荒野が広がる。人口密度の小さい金鉱地帯。インディアン、スペイン系を主体に成り立つ文化は多様でバラバラ。気候は暑く、人間も情熱的。ガンマンの発祥地。

⑦西海岸

アジア、メキシコ系移民が多く独自の文化を持つ。アメリカ人の憧れの場所であり、観光地としてはあまりにも有名。オープンで流行に敏感。文化など革命波動の源である。現在人口急増中。（文献：不思議の国アメリカ／講談社）

[文：真壁仁美]

Book

作家達との幅広い交遊 「懐かしい人たち」

吉行淳之介 著



この夏、惜しまれて世を去った作家・吉行淳之介が、いにしへの作家との出会いと交流を描いたエッセイ集である。作者自身が故人となったことで、「懐かしい人々」の風貌は、さらに歴史のにおいを漂わせるものとなった。

登場する作家は、井伏鱒二から向田邦子まで、32人。作家論ではなく、作家の日常生活や人柄、感受性といったものに主眼がおかれているから、作品から受ける印象とは違った息づかいや肌合いといったものが伝わってくる。

喧嘩早い立原正秋と編集者からライターを脅し取る話、時代小説をはじめ書くことになって柴田錬三郎から講義を

うける話、ホテルに籠って原稿を書いていた高見順に睡眠薬はないかと訊ねられ、深夜薬局を探す話…。

タバコを吸うときピース缶を覗き「どのタバコが吸われたがっているかな」と呟いた内田百閒、編集者時代に毎晩一緒に酒を飲んでいた学生アルバイトの湯澤龍彦、癌の手術後いまのうちにたくさん旅行をしておきたいと出かけた先で飛行機事故に遭った向田邦子…と、懐かしい人たちの素顔が鮮やかに迫ってくる。

作家がいて人がいる、というのではなく、人がいて作家がいる、ということがよくわかる本でもある。（川）

講談社刊 ¥1800

会いたい人から 会いたい人へ
 知りたいことから 知りたいことへ
 リレーでつなぐエッセイ

太宰治が住んだ街



橘田 茂樹

きった しげき
 1950年生まれ
 太宰文学研究会会員

太宰治の作品には、数多く甲府の地名が登場してくる。その一番の理由は、夫人の実家が甲府にあったからである。

太宰治が甲府に滞在したのは、昭和13年11月から翌14年8月までと、昭和20年4月から7月までの計14か月間である。

この頃を描いた作品に『富嶽百景』『新樹の言葉』『畜犬談』『薄明』などがある。これらの作品は、ほとんどが太宰治の実生活と重なっているため、読者にとっては誠に興味深いものがある。他の作家と違い、ここが太宰文学の特徴であり、最もおもしろいところである。難しい論議より、甲府のどこに住み、どのような生活をしていたのか、というようなことを知る方が、より文学を身近に感ずるのである。

さて、太宰治が滞在したのは、今から50年前の甲府市である。当時の人口は約10万人で現在の半分である。そんな甲府を太宰治は、『新樹の言葉』で次のように表現している。

「沼の底、なぞというと、甲府もなんだか陰気なまちのように思われる

だろうが、事実は、派手に、小さく、活気のあるまちである。よく人は、甲府を、「揺り鉢の底」と評しているが、当たっていない。甲府は、もっとハイカラである。シルクハットを倒さまにして、その帽子の底に、小さい小さい旗を立てた、それが甲府だと思えば、間違いない。きれいに文化の、しみとおっているまちである。」

夫人の故郷とはいえ、随分賛美した作品である。私が出会った作家の中で、誰よりも一番うまく甲府を表現しているのが太宰治であろう。

作品にはこの他、桜町の「大丸デパート」や太田町の「望富閣」「動物園」、柳町の「老舗」など現存するモデルが次々に登場し、戦前の甲府の町並みが見事に描かれている。

『富嶽百景』では、井伏鱒二に連れられた太宰治らしき主人公が、相手の女性宅で見合いをする場面がある。甲府市水門町29-1の石原家である。(現朝日一丁目8-19)作品では、甲府のまちはずれとなっているが、実際は甲府駅のすぐ北西である。『薄明』の舞台となる石原家は、昭和20年7月の甲府空襲で焼失して

しまい、現在は何も残っていない。この見合いに同席した女性(夫人)の母親から堅町93番地の下宿を紹介してもらい、結婚の準備に取り掛かるのである。

『畜犬談』は、太宰夫妻の新居となった御崎町56番地がモデルである。今は、朝日五丁目と町名が変わってしまい、当時を忍ぶものはない。太宰治がよく散歩したという御崎神社が、僅かに名残を留めているだけである。現在の「美咲」は新しい住居表示の町名である。

また、作品では、「私はすぐ近くの四十九連隊の練兵場へ散歩に出て」と、現在の緑が丘付近の様子を描いている。

余談ではあるが、酒好きの太宰治が度々酒を買い求めた店は、白木町の酒屋さんである。その酒のつまみとなったのは、増山町の豆腐屋さん。頻りに通った銭湯は、久保町の「喜久の湯」である。

既に、半世紀が過ぎ去った現在、当時の町名は何一つ残っていない。ただ、新婚時代を過ごした住まい跡に石碑が建てられ、「御崎町56番地」と記されているだけである。

和宮御下向と長征御進発は 助郷制度の不満となって燃えあがる

林 陽一郎

はやし よういちろう
 山梨県教育委員会・歴史編集文化財担当



明け前 (長さ80×幅45×高さ50cm)
 この行季1ヶ20番(50)を2ヶ馬の背につけるのが標準

明治維新に先きだつ7年前の文久元年(1861)とそれから5年経た慶応元年(1865)に本県運輸史に直接関係はなかったが2つの大きな出来事があった。前者は和宮御下向であり、後者が幕府長征御進発である。

和宮御下向とは、孝明天皇の妹姫である和宮を徳川14代将軍家茂に嫁がせるという公武合体策の一つとして行われたもので、文久元年10月20日に京都を出発した和宮一行は、中仙道を通して11月16日に江戸城に入った。嫁入道具の入った長持数十棹と馬荷100駄を運ぶ人足や馬、警護の人やお供の人で総計8万人という一大行列になったという。一つの宿場を全行列が通り過ぎるのに4日間かかった大人数であり、これは鳥崎藩村「夜明け前」や有吉佐和子の「和宮御留」の小説に書かれてもいる。

慶応元年の御進発は、幕府の意に従わない長州藩の征伐をするために、江戸から京都へ兵を差しむける幕府軍の行軍である。戦国時代の人と人との戦いと異なり、西欧輸入の鉄砲や大砲を装備する軍隊の移動は弾薬

や兵糧の物資輸送が大きな仕事となる。この軍列は東海道を通過する。

以上2つの出来事にはともに多くの人足や馬が必要となる。それをどうして調達したのであろうか、本県に直接関係はなかったこの2つの出来事も実は人足や馬の調達面で大いに関係が出てくるのである。

徳川時代交通制度の特徴の一つとされるものに助郷がある。各街道の宿場には常備しておく人足や馬の数が決められており、この常備数以上の人足や馬が必要ときは、あらかじめ指定された近所の村々に人馬を割り当てて調達する。この制度を助郷といい、これは強制割り当てでもあった。和宮御下向や御進発の場合、宿常備の人馬では不足する。宿場では助郷村に人馬の割り当てをするが、とうてい目標数を集めることは出来

ず、そこで割り当ての村の範囲を拡げ必要数を調達する。御下向の際には助郷人足18,000人が必要となり、中仙道沿いの村々の調達では足りないで、隣国である甲斐国はほぼ全村に助郷の割り当てがされた。富士北麓の鳴沢村にも人足13人、馬1疋、役員1人が割り当てられて11月2日に村を出発し、帰村したのが11日とのこと、したがって指定された下諏訪での勤めを含め10日間を費している。御進発の際には御下向ほどの人馬を必要としなかったが、その助郷の割り当ては駿河のみでは足りずに甲斐国甲府以南の村々にまでおよんでいる。割り当てられる村のうちには金銭で人足提供に替える村もあったが、財政的にも大きな負担ともなってきた。農繁期でもお盆中でも時期に関係なく、壮年期の男性や馬の提供を強制される助郷は町や村の人々の不満をよび、ついには幕府政策への不信ともなっていた。各地の宿場や助郷村で数多くの問題をかかえた末期的な状態の中で、運送という日本の大動脈は動き続けて明治維新を迎えることになる。

八ヶ岳南麓を駆け抜ける
人にやさしい車は送迎・名画運搬・料理運搬
いつでもどこでも大活躍
芸術村の名スタッフです

ラ・パレット

長坂町の総合的文化運動の拠点、青春芸術村。敷き詰められた芝生の上を歩くと、キャンバスを広げ思い思いに絵筆を動かす人々の姿があちこちに見られる。全体が穏やかな空気に包まれたアートコロニーといった印象。その片隅に建つのが、今回おじゃましたレストラン「ラ・パレット」。芸術村を訪れた人達の、くつろぎのスポットだ。

入口にはジャムやクッキーが並び、ショーケースの中には評判の手作り

ケーキが。店内に入ると、壁にぐるりと飾られたパレットがまず目に飛び込む。どれも実際に画家が使ったものだという。形や絵の具の色がそれぞれ微妙に違っているのが面白い。本格的なフランス料理を味わえるのはもちろん、芸術の世界にひたったまま過ごせる雰囲気も魅力だ。

トヨタビスタとは、1986年にレストランがオープンした時からの付き合い。芸術村の名前を入れたハイエースも、当初からずっと乗り続けているものだ。美術館では絵画の運搬、画家の送迎や、遠方から足を運ぶお客様を



迎えに行く場合などにも使用している。レストランでは材料の仕入れの他に、ペンションで開かれる出張パーティーやオープニングパーティー



などのイベントにも車は欠かせない。後ろの座席を倒し、銀盆の上いっばいに料理を載せて、八ヶ岳のふもとまで駆けつける。

8年以上活躍したハイエースは、さすがに年季が入った様子。「買い替えて言われるんですが、故障が少ないのでなかなか…」と支配人の土生和彦さん。三人の従業員もハイエースの丈夫さに感心し、自分の車を買う時もビスタから選んだという。乗り心地の良さプラス性能の良さは、土生さんの「今度買う時もハイエース」の言葉で実証されている。

- ランチ 11:00~15:00
- ディナー(要予約) 17:00~19:00
- お茶は 10:00~

〒406-16 北巨摩郡長坂町中丸 2072
Tel0551(32)5608 Fax0551(32)2444

車を身近に感じることができる…
背伸びしない気持ちいい乗り心地
街角のどんなシーンにも似合ってしまう
カレンはそんな車です…

「その車はカレンです」。

静かなナレーションが妙に耳に残るこのTV-CMは、もちろんトヨタビスタの人気車、カレンのものだ。ナチュラルなライン、シンプルで無駄のない装備と手頃な価格で、販売当初から話題を呼んだカレン。若者を中心とした販売台数の伸びには、このCMによるところも大きいはずだ。少年のようなみずみずしい魅力を持つ永瀬正敏をメインキャラクターに起用し、ストーリー性を重視したものに仕上がっている。CMは今回ですでに4作目。すべて名作映画からヒントを得て、その映画のサウンドトラックの中の曲を使っている。どこかの街で本当に起こりそうな永瀬君のこのドラマ、あなたは何か見ただろうか。



①ムーンリバー編

コンビニエンスストアで買ったパンをかじりながら、思わずショールームをのぞき込む永瀬君。カレンとの出会いの瞬間が印象的に描かれている。

②OK 牧場の決闘編

①で一目ぼれしてしまったカレンを、とうとうショールームに行き手に入れた永瀬君。

③風と共に去りぬ編

ついに納車されたカレンに乗ってドライブ。その走りを楽しんでいる永瀬君の顔はとても満足気。

④80日間世界一周編

一目で気に入ったカレンを手に入れ、幸せな永瀬君。うれしいことに彼女もできた。早速愛車に乗せてデート。ところが、行く先のどの駐車場にも満車の表示が。ふくれる彼女を横に集める永瀬君。やっと見つけた空車マークも、歩行者に道を譲ったら違う車が…。



最新作の撮影は、夏の早朝(何と午前3時から!)に行われた。メイン以外の出演者もすべてエキストラ。かなり大掛かりな撮影だけに、路上に駐車している車をどかしたり、酔っ払った人が通るのに苦労したそう。若者の日常を描くことで、車をより身近に感じさせたカレンのCM。次はどんな名作を見せてくれるのか、今から楽しみだ。

[文: 山川エミ]

ほとんど衝動買いだった?! 自然体の家づくりで得た “やすらぎ”のある生活

望月^{かお}賀子^お夫・久美子さん (増穂町)

「本当のことをいうと、家づくりにはあまりエネルギーを使いたくなかったんですよ」。

住まいについての話をうかがおうとしたら、ご主人である望月賀子夫さんがすまなそうに笑った。家の中



は建ててからもう半年が過ぎようとしているとは思えないほどきれいで、隅々まで手入れが行き届いているという感じ。さぞ生活の場に対してこだわりを持っているのでは…と思っただけなら、先ほどの答が返ってきた。

望月さん夫婦が家を建てようと思ったのは、以前住んでいた家がシロアリの被害にあったためだという。その怖さを知っているので、いかに安心して住める空間となるかが、新しい家を選ぶ上での基準となった。そのお眼鏡にかなったのが、トヨタホームの「ラーチ」。鉄骨ユニット工

法の頑丈さは、何よりご主人の気に入った点だ。

トヨタホームとの出会いは、土地を探しに行く道すがら、時間が余ったために偶然入った昭和町の住宅フェアで。いろんなメーカーが集まる中で一番最初に声を掛けられたのが、後に担当となるトヨタホームの営業、石川さんだった。カタログやモデルハウスを見る内に、すっかり「ラーチ」が気に入ってしまったのは奥さんの方。以前から憧れていた洋風のおしゃれなたたずまいに一目ぼれ。「ほとんど衝動買いだった」と言い切る。2〜3日で購入を決め、後は土地

のことから資金のこと、工事まですべて石川さんに任せて完成を持った。当時は二人とも仕事を持っていて忙しかったこともあり、家づくりの最中に中へ入ったのは一度だけ。大工さんに対してのもてなしや付き合い、行事などへの心配もまったくいらず、家づ

くりを負担にしたいくないというご主人の思惑は、見事に成功したといえる。

「思った以上の仕上がり」と喜ぶ奥さんは、今度はインテリアを自分好みに改装中。あちこちにさりげなく飾られた可愛い小物が、ほっとする空間をつくっている。

日当たりのいいリビングの窓からは雄大な山々が臨め、なかなかのロケーション。それぞれに自分の趣味を一番大事にしているという二人だが、この家が“やすらぎ”のよりどころであることは間違いない。

[文：山川エミ]



明るくあたたかい部屋は、なごやかな雰囲気満ちている

トラブルはいや… 一世一代の大事業は誰しも不慣れなもの そんな時突然襲ってくる予想外の事態 その実際と対処法とは……

夢 にまでみたマイホーム。敷地や資金、家の外観や間取りなどのプランが決まり、いよいよ契約。着工が始まり、やれやれ、一段落ついた…と安心した時に起こりやすいのが、家づくりに関するトラブルだ。それなりに気を配っているつもりでも、思わぬところで悩んでしまったという体験者の話をよく耳にする。

それでは実際にどんなトラブルが起こるのか、住まいづくりを経験した人の声をひろってみよう。

●Aさんの場合

2世帯住宅を建てようとして計画し、知人の紹介で工務店に依頼したAさん。契約書には着工予定日も完成予定日もきちんと記入してあった。ところが当日になっても“大工さんの都合がつかない”“資材が不足している”などの理由で、2週間も着工が遅れてしまったという。以後も大工さんが来たり来なかったりという状態は続いた。そのうちに梅雨期に入ってしまった。まったく手つかずの状況が2ヶ月……。

結局入居は予定の半年後になり、

仮住まいの費用は何と90万円もオーバーしてしまった。

●Bさんの場合

基礎工事に入ったとたん被害を被ったのは、Bさん。ある日の夕方、夫婦で建築工事の現場を見に行ったら、全面道路に基礎工事が出た土が散乱しているのを発見した。10mほどある土の帯には、くっきりとキヤタビラーの跡までついている。一日の工事はすでに終わり、関係者は帰っていたが、この道は通勤路。次の日の朝には近所の人達が通るため、その日の内に土をどかさなければならぬ。施工会社にすぐ電話を入れたが、作業に時間がかかるため明日になるという返事。

Bさん夫婦はやむなく家のシャベルで、この10mにわたる土を道路わきにどけたという。

◇

こうしたトラブルは、業者との話し合いで防ぐことはできる。

例えばAさんのような場合は、基礎工事完了や上棟式、木工事完了といった節目ごとに進行状況を確認し

ておくことが必要。遅れている時は遅れを取り戻せるのか、どんな手立てを取るつもりかなどを現場監督に文書でしっかり確認することも大切だ。金銭的な賠償については、契約約款の延滞損害金を見て、金額が明示されていない場合はメーカー側と取り決めておこう。

Bさんのような場合は、気がついたらすぐ施工会社に連絡し、現場監督の責任で管理してもらうこと。それでも駄目なら、現場監督の上司にあたる担当部長に連絡を取ってみよう。

長い建築工事中に起きるトラブルも、全工程の85%を工場で作るトヨタホームなら心配いらない。ユニット組立て後は内装工事が中心になるため、近隣にける迷惑は最小限におさえられる。また、住まいづくりのスタートから完成後のアフターサービスまで、責任を持ってサポートしてくれるため、家づくりへの疑問があればその都度確認できる。満足のいく住まいを完成させるには、やはり信頼のおける業者を選ぶことが一番だ。

[文：山川エミ]

おしゃれ

AL/BEE (アル・ビー)



営業時間 11:00-20:00
(連休最終日・日曜日 10:30-19:30)
定休日 第2第3水曜日
所在地 甲府市丸ノ内一丁目16-21
今村第2ビル1F
TEL 0552-32-1028
FAX 0552-37-2002



とっておきの
おしゃれな魔法をおしえます

もっともっときれいになりたい。去年の私より今年の私は、ちょっと輝いている。そんな魔法を自分にかけて、とっておきのおしゃれを探しているあなたにオススメなのが、東電前の通りにあるAL/BEE本店。

ここには、KISSAやRABOKIGOSHIなどシンプルだけど飽きのこない流行最前線のバッグや靴がいっぱい。

「おしゃれも創造・クリエーションの時代、お客様に夢と素敵未来を届けたい」とは笑顔が爽やかな店長の八木さん。靴大好き人間の店長さんいわく「人によって意外にクセのある足の悩みも、ぜひ相談して下さい」とのこと。ロンドン発、東京経由のおしゃれをなんとかより速く、感度よく発信することに全力をかけたわけてくれているのもうれしい。

「お客様と出会えるのが、何よりも楽しい」と語る店長さん。少し勇気をもっておしゃれ相談に出掛けてみてはいかが。ちょっぴり大人になった、あなただけのおしゃれをきっと見つけてくれるはずです。

トヨタホーム管理部：長田 はる子

たべる

磯香 (いそこう)



営業時間 17:00-10:00
昼・予約制
定休日 月曜日
所在地 中巨摩郡田富町白井河原
1719-4
TEL 0552-73-3811



家庭的な雰囲気の中で
海の幸ならすべておまかせ…

田富北小学校のすぐ近くにある「磯香」。海のない山梨ではめずらしいシーフード専門店として、口コミを中心に客層を広げ、今ではその味のとりことになったグルメも数多い。伊豆の保養所で働きながら料理をしていたので、海産物調理の腕はたしか。ほとんど一人で料理しているため、昼間は完全予約制。夜も8割以上が予約客でにぎわっている。温かい料理は温かいうちに、冷たい料理は冷たいうちにとの心づかいからコース料理をオススメしたいとか。

客層は、主婦を中心とした4~5人か7~10人の団体。夜は会合などにも利用される。もちろんプライベートの大切なひとときを過ごすのにも最適。2500円のお楽しみ膳は7~8品と、デザート付でリーズナブルな料金。その他、伊勢エビ・各種お刺身など旬の食材を厳選して調理してくれる。

気の合った仲間と食前酒を頼けながら、“今宵は美味三昧”ぜひゆっくりと訪れたいお店です。

甲府通運本社経理課：橋井 みどり



PHOTO EYE

浅川 毅

カメラマン



ゴールへ

くらしのなかの
感動さがし

撮影場所/長坂町
天候/晴れ
撮影データ/ニコンF3
ニッコールレンズ85mm F3.5
1/250, F8
フィルム/ネオパンSS

今にも息切れしそうなランナーが
何人もかけ抜けて行く。
何日も何回も練習を重ねて来たのに、
晴れの舞台だというのに、
みんな疲れ切ってゴールを目指す。
ゴールに着いたとたんに座り込む者、
まだまだ走れるぞとばかり足を上げる者……。

だけど滴り落ちる汗とともに、
誰の顔にも満足感でいっぱいだ。
心地よい疲労感が全身を包む。
昔、
ガムシャラに走り続けたことが、
自分にもあった事を思い出させてくれる。

某月某日

節目節目の自問について考えた

営業にしろ研究開発にしろ もちろん経理事務であっても
業績を上げるということは人材という資産をお金に変えること
しかしどの会社の貸借対照表をみても
人的な価値は資産の部に記載されない
機械を擦り減らしながら収益を上げるように
人を使って営利を追求するのに…



あなたの仕事上の目標は？と尋ねると、恐らくみんな「〇〇をすること」と、結構単純に答えられると思う。その単純すぎる“目標”のもつ意味を考えてみると極めて分かりやすいが、深く考えれば考えるほど“目的”は単純ではなくなる。曖昧性が共有するのである。こだわって突き詰めれば、バリバリ頑張っている人が、ふと鏡をみてサラリーマン生活の中で、働くことの意味を見失っている。

生き生きと絶頂を迎えていた人が一転、精気を吸い取られたかのように元気を無くしてしまうことがある。そんな人をみていると、活力源のキーワードは「自分自身」「充足とゆとり」「創造性」と言えそうだ。自分自身とは、適材適所で個性を発揮できる環境にあること。アイデンティティを感じながらの仕事ができること。充足とゆとりとは、どんなにきつい忙しい仕事であっても、重要性をもった満ち足りたものであるか。また、ハッキリとした区切りがあるか。創造性とは、組織、職場、仕事の中でそれぞれに何かを作り出すという、意義とかロマンがもてるかと

いうこと。

では、自問してみよう。働く喜びとは何か、本当に楽しいのか。つい疑問を感じるのではないか。そして、たいがいの場合、組織目標と個人目標とが一致しないはずである。大きなビジョンを共有しながら、ベクトルは色々な方向を向いている。かえて、そんな形の中で、工夫し調整していく状態が望ましいもの。異質なことへの許容が得られたなら、なおベターだ。

その一方で、自己責任も生じる。自分の責任においてやったことで、しかも死活に係ることであったなら、アクションをとるということは、組織全体のコミットメントに関わってくる。しかし、ありがちな“一人の責任は全員の責任”的な発想は、良い職場環境であると同時に、実は無責任であることを招来している。あまりにも個人が全体を意識しすぎるのは、組織にとって都合が悪くなる。なぜなら、人は自身のことだからこそ責任を感じるからだ。

もう一つ組織的思考の欠点を挙げておこう。団結心があり、良いミッションをもった組織に限って、「我々

は間違っていない、正しいんだ」といった奢り、「俺たちは道徳的にも正しい」という虚構、そして「デフォルメされた価値観」を信用してしまう。個人では躊躇するところを、幻想に支配され走ってしまう。そんな傾向が窺える。ひどい言い方をすれば、単純すぎる目標に、単純すぎる人達が集まると、複雑なことは考えなくなる。「行け行けドンドン」は怖いことだ。

＊

「60点主義で即決せよ。決断はタイムリーになせ。変化の時代は“時間”の要素が大きくものをいう。スピードこそが生命であるのだ。完璧を追っている間に時機を失すれば、たとえ100点案でも、50点の結果になってしまう。かりに60点案でも、時機を失せず自信をもって行動すれば、80点の結果を生み出すかもしれない。“運”というものは、そんなときにむいてくるのである」

これは、東芝の危機を救い、経団連会長の重責を完遂した土光敏夫氏の言葉である。あなたは今年どんな目的をもって、どんな目標を定めましたか。 [文：新海 毅]